

丸亀支部メディア教育研究報告

「研究主題」

自ら学び、自ら考え行動する生徒の育成

ーさまざまなメディアを活用し、主体的に学習する生徒の育成ー

1 はじめに

現在、丸亀市内の島しょ部は、一般家庭にインターネットができる環境が ISDN 回線しかないため、多くの生徒は学校のコンピュータを使ってインターネットを体験している。また、携帯電話もほとんど持っていない。島しょ部のこのような状況において、生徒に情報モラルを身につけさせたり、情報活用能力を高めたりするためには、まず、生徒が日常的に活用できる ICT 環境を構築することが不可欠である。そして、その環境を介し、ネット社会を体験することが、情報活用の実践力の向上を図る根本の要素と考える。

そこで、更新前のコンピュータを各教室に配置することを考えたが、セキュリティソフトの契約の終了及び 2014 年の WindowsXP のサポート終了を考えると、現状のままでコンピュータを使用するという結論には至らなかった。そこで、今回使われていない古いコンピュータに OSS（オープンソース・ソフトウェア）をセットアップして活用することを考えた。

生徒用のコンピュータに順次 OSS のオペレーティングシステムと OpenOffice を導入している。その上、生徒はインターネットを使用する機会が多いので、直接アクセスをすることを避けるために、xoops(コミュニティサイト)にアクセスするように設定した。

情報モラルを中心とした情報活用能力の育成を行える有効的なシステムだと考える。

xoops を使用した授業

- ・ 情報モラル
- ・ 著作権
- ・ サイバー犯罪
- ・ 疑似体験(高知県教育委員会)

2 ICT機器の活用と教師への啓発

本年度、StarBoardを2台購入することができた。

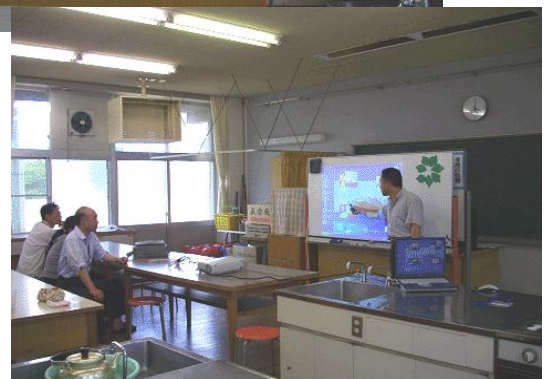
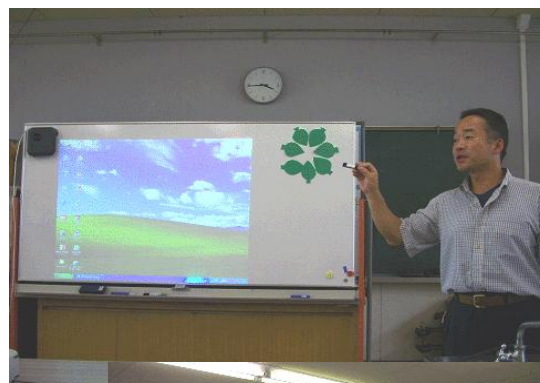
StarBoardはコンピュータとプロジェクタを使用して映し出された画面上でコンピュータを操作したり注釈を書き入れることができる装置である。

この機器は授業で活用することにより今まで個別に見せていた資料を一度に大画面で周知できるというメリットがあり、生徒が意欲的に授業を受けるための導入として活用できる。

ICT機器といえばコンピュータが必須のように思われるが、デジタルカメラとプロジェクタ、提示装置とプロジェクタという組み合わせで授業をすることもICT活用の有効的な手段と考える。



今回、OSS を使用しても、生徒は Windows で培ってきたコンピュータ操作が違和感なくできるものと考えます。また、コミュニティサイトにアクセスし自分の ID・パスワードでログインすることで、責任あるサイト運用も目指せるため、



先生方にICT機器を使用した授業を実践してもらうために、校内研修で研修を行った。

操作と機器の準備についての注意点及び実際に操作してもらったの問題点などを話し合い、有効的活用ができると先生方が判断していた。

① 国語科授業

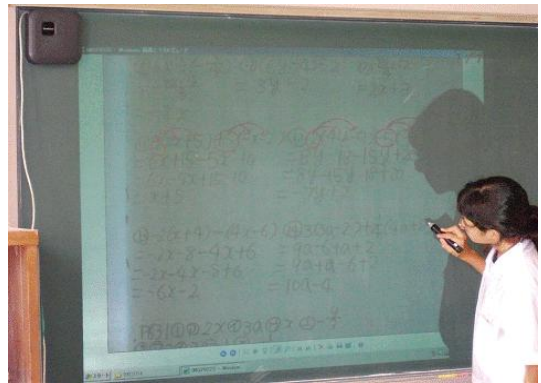
国語科の授業では、生徒同士の話し合いをビデオで撮影し、そのビデオを鑑賞しながら、言葉が明瞭であったか、きちんと聞き取れる声であったかなどさまざまな方向から、自分を見つめ直すことができていた。



② 数学科授業

StarBoardとデジタルカメラを使用して、ノートに書いてきた宿題を教師がデジタルカメラで撮影し、それを使用して他の生徒のにわかりやすく説明するという過程でICT機器を活用した。

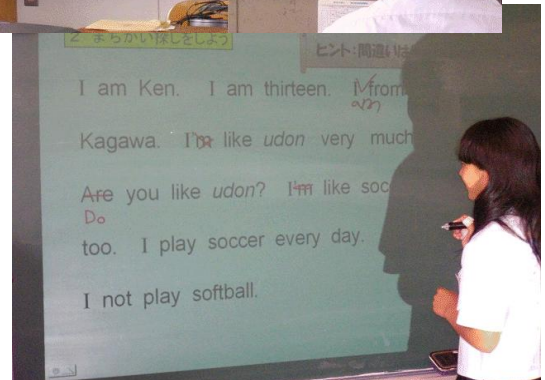
生徒は、自分の書いたノートが大きく映し出されているため、落ち着いて説明することができた。その上電子ペンを使用して画面に書きながら説明していたので、聞いている生徒もわかりやすかった。



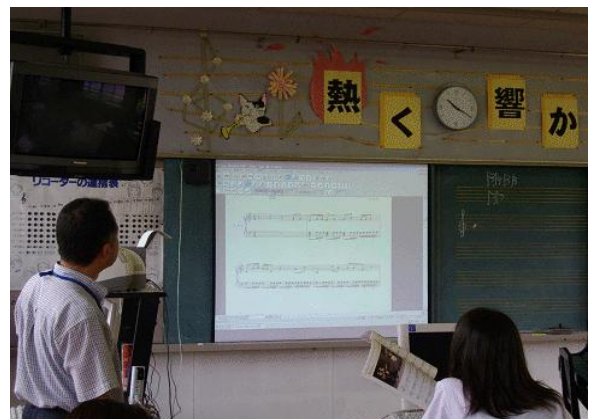
③ 英語科授業

英語の授業では、今までフラッシュカードで生徒に見せていたものをStarBoardを使用することで、より一層生徒の集中力が増した。

生徒に間違い探しをさせているが、画面上で訂正しているので他の生徒もとてもわかりやすかった。



④ 音楽科授業



音楽では「コンピュータで編曲しよう」という課題で授業をした。生徒一人に一台、コンピュータを使用できるため、個人で楽譜を入力させ、その楽譜を元に旋律を変えていく様子を大きな画面と音の両方で確認できるので、他の生徒もその変容がよくわかって楽しそうだった。

フトはMSOfficeの場合、別購入なのでOpenOfficeを使用している先生も出てきた。



3 成果と課題

「サイトでは使っていないことば」の抽出により、日常的に使ってきたことばを反省するとともに、インターネットを通して見えない相手への誹謗中傷がどのくらい相手を傷つけるかを考えることができた。また、インターネットにアクセスするトップ画面をxoopsにしたことで、誰でも簡単に学校の情報を得ることができるほか、情報モラルサイト、サイバー犯罪サイトを使って自分のペースで学習できるため、インターネット社会へ安全に参加できる自信が徐々にではあるが出てきたように思う。

また、生徒の中には、「自分たちがネット上に発信したものを携帯電話で見ることができたら」と話している者がいるため、携帯電話サイトへのリンクも考えなくてはならないが、生徒が投稿したニュースや行事予定などを、何も手を加えずに携帯電話サイトにリンクさせることができるように、システムの変更・開発が必須になる。

今後、生徒が「Openofficeを使用した生徒会だよりのテンプレートの作成」や「行事の毎にアップロードする内容の精選」、「アップロードする行事の抽出」などを情報モラルと著作権を守ってできるように、訓練していく必要があると考える。

教師への啓発という面では、今しなければいつまでたってもできないという心構えで、生徒より早く情報を察知し、生徒よりコンピュータの技能が上であるという目標を掲げ、ICT機器活用を通して研修を行っている。

OpenOfficeの使用も進めているが、今まで使ってきたソフトが使いやすいということもあり、完全な使用までは至っていない。学校でも家庭でも同じソフトを使って仕事ができるというメリットもあり、特にプレゼンテーションソ